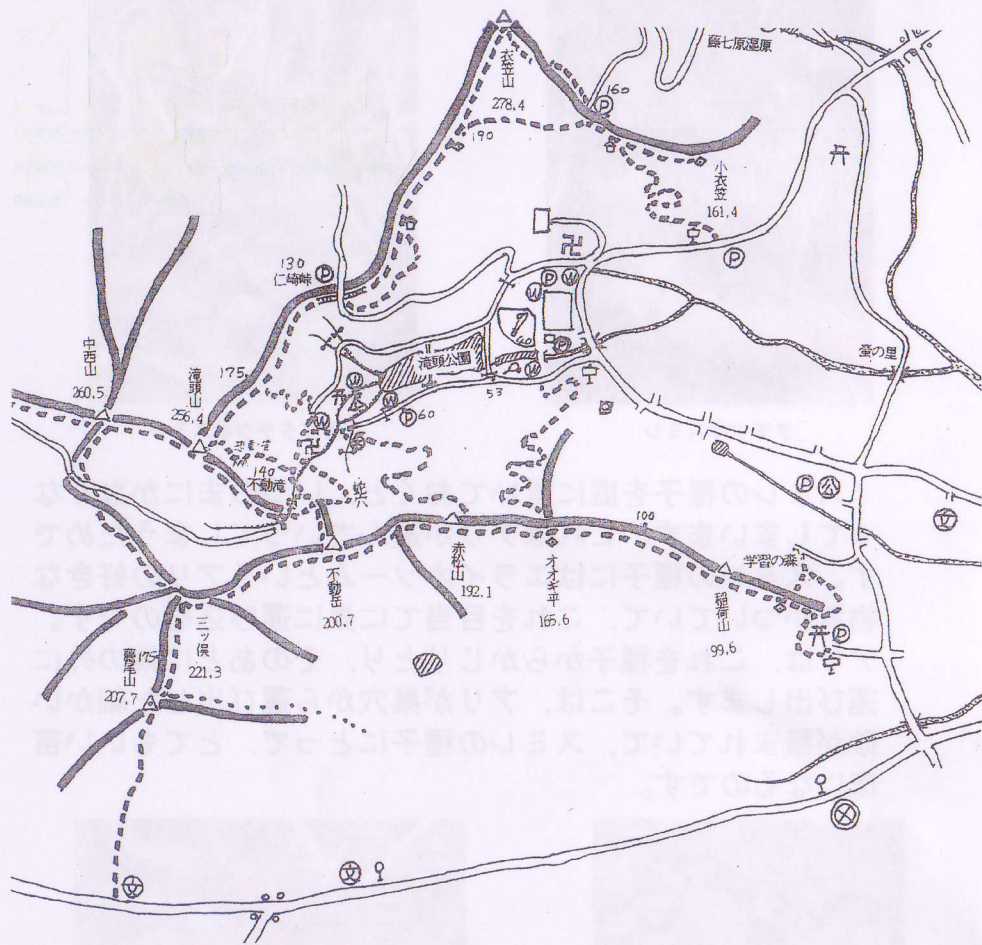


稲荷山周辺の自然歩道



*1993年3月 たらめ会作成による「衣笠自然歩道」より一部抜粋して転載

2004年 定例自然観察会

稲荷山・滝頭公園の自然観察



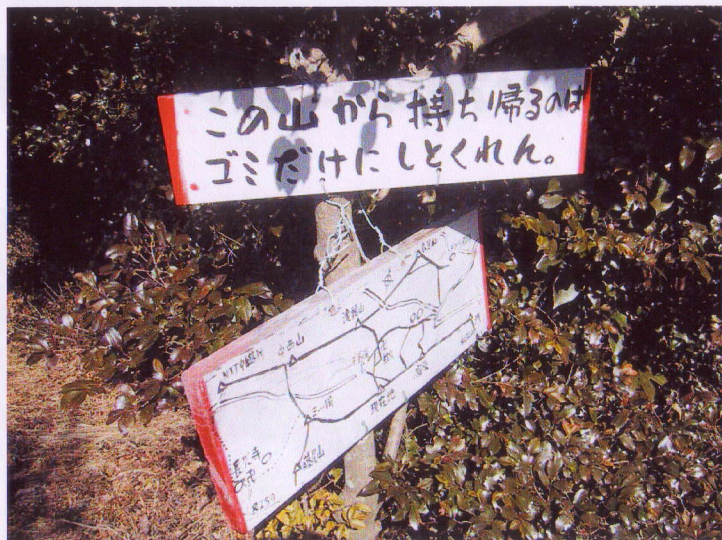
(シロバナタンポポとオオイヌノフグリ
衣笠市民館近くの田んぼ脇の道端で：3月14日撮影)

4月11日(第2回)

主催：NPO法人東三河自然観察会
後援：田原市・田原市教育委員会

自然へのモラル

(持ち帰らない、私物化しない)



この看板は、定例観察会のコース上で見つけたものです。自然は誰のものでもない、だから採っても良いのではなく、みんなの物として大切にしようと考えする必要があります。

日本の自然は豊かなのだから少しぐらい採ってもかまわないと考える人もいます。しかし、日本の自然は必ずしもすべてが豊かではありません。

商売として自然物を乱獲する人がいることが大きな問題になっています。また、趣味で山野草や昆虫を採取するマニアのモラルも問題になっています。

ただ、このことは、自然に一切手を触れてはならないということではありません。例えば、葉をちぎって匂いをかいで見るといことも自然観察会ではあります。しかし、この時にも「ごめんなさいね。1枚だけ分けてね。」といった気持ちが必要でしょう。

「とるのは写真だけ、残すのは足跡だけ」というのが、自然へのモラルの基本です。

(参考:「自然観察入門」:日本放送協会学園)

スミレが多く見られる季節です



タチツボスミレ



ニオイタチツボスミレ

スミレの種子を庭に置いておくと、いつのまにかなくなってしまいます。これはアリが運んでいってしまうためです。スミレの種子にはエライオソームというアリの好きな物質がついていて、これを目当てに巣に運び込むのです。アリは、これを種子からかじりとり、そのあとに巣の外に運び出します。そこは、アリが巣穴から運び出した細かい砂が積まれている、スミレの種子にとって、とてもいい苗床になるのです。



ヒメスミレ



マキノスミレ

(4枚のスミレの写真は、撮れたてドットコム <http://www.plantsindex.com> に申請して

60部作られたものです。配布責任者=寺本和子)

このページの写真と文(タイトルを除く): いがりまさし